

はじめに

中山間地域に広く分布する棚田は、食料の供給とともに、水源のかん養や洪水の防止、美しい農村景観の形成や多様な生態系の保全など多面的機能を有しておりますが、過疎化や高齢化の進行に伴う担い手の減少や地域コミュニティ機能の低下などによって棚田の荒廃が進みつつあり、その喪失が懸念されています。

一方、こうした状況に危機感を感じて、棚田を次世代に引き継いでいこうと、地域住民による棚田保全活動が始まっています。県内各地において、棚田の有する多面的機能を十分に発揮できるよう協働で行う棚田保全活動を支援するとともに、棚田保全に対する県民の皆様のご理解とご協力をいただく契機となることを願い、県は、平成22年3月に「やまぐちの棚田20選」を選定しました。

本手引き書は、棚田保全活動の参考書として、また、これから保全活動を始めようとする地域の皆様に、話し合いの場づくりの手助けとなるものとして、できるだけわかりやすい表現にし、県内の地域特性に応じた代表的な保全活動事例や写真などを掲載して取りまとめました。

県民共有の財産である棚田の保全活動を通じた地域の活性化により、皆様がいっそう元気になるよう、本手引き書を活用していただければ幸いです。

終わりに、本手引き書の作成にあたり、ご協力をいただきました「やまぐち棚田保全協議会」の委員の皆様をはじめ、事例収集にご協力をいただきました市町や地域の皆様に心からお礼を申し上げます。